



● 会報第20号の発行によせて ●

今回の特集は、昨年開催の『日本・オーストラリア国際版画展』（10月京都市美術館／12月ふくやま美術館）報告を武蔵篤彦氏と石井誠氏にお願いしました。また作家紹介では、本展覧会にて優秀賞を受賞された廣瀬敦史氏とふじいみよこ氏からお話を伺っています。

それぞれ大変興味深い内容です。ごゆっくりとお楽しみ下さい。



◆ *Atsushi Hirose*

“躁転”

H171×W23.7cm
Etching, Engraving
2014



◆ *Miyoko Fujii*

“Lesson—1”

H18×W18cm
Etching
2012

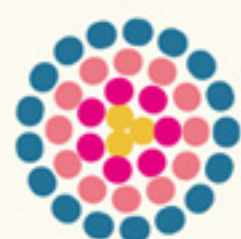
■ 特集 「日本・オーストラリア国際版画展」報告

- ・京都展（京都市美術館） について —— 石井 誠
- ・広島展（ふくやま美術館） について —— 武蔵篤彦

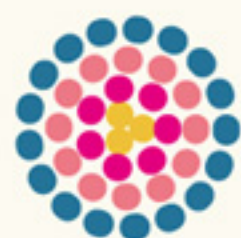
■ 作家紹介 「優秀賞」受賞作家 —— 廣瀬敦史・ふじいみよこ

■ 追悼 川西祐三郎先生のご逝去を悼む

■ 活動報告 ■ 掲示板



京都市美術館報告



文 石井 誠

十一月二日に行われたギャラリートークでは、両国の出品者が自作や知己の作家・作品についての解説を行いました。会場では熱心にメモを取る方や、終了後も作家へ質問をする方々が多く見受けられました。

オーストラリア側から四名の方々と、見識のある作家の解説があり、日本側は当日の出席者と受賞者の参加が中心でした。紙面の都合上、主にオーストラリアの方々の発表の中から抜粋して述べさせていただきます。



① 京都美術館 2014年11月2日 ギャラリートーク

最初にブルース・ラティマー氏の解説においては、オーストラリアの社会情勢や、イメージがもたらす要素が五感へどう訴えかけるのかなどを、掘り下げてご説明いただきました。

次にロン・マクバーニー氏の解説では個人の感覚

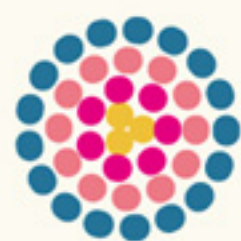
をどうイメージとして表現していくかを解りやすく解説され、そこに至るまでのご自身の経歴や作品に向かい合う心持ちを、多くの質問に真摯に答えながら話されているのが印象的でした。

最後に東京藝術大学で研究生として木版を専攻されたロズリン・キン氏は同大学の恩師が憧れの作家であったというエピソードを交えながら楽しく解説されていました。また、オーストラリアの版画施設の設備、現状や、各作家の版画以外の制作プロセスといった興味深い内容を聞くことができました。また、アボリジニ作家の制作における背景など、ステートメントや図録からは知り得ることのできない内容のお話も聞くことができました。

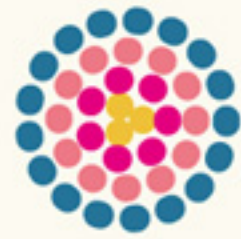


② 京都美術館 2014年11月1日 レクチャー

日本側に移り、前半は受賞作家の紹介や若手作家の発表があり、後半のベテラン会員のトークでは、ジョークを交えた明るい雰囲気での要所を抑えた説明に感嘆の声が上がリ、大勢の拍手でトークを終了しました。トップクラスの作家に直接お話を伺え、また、自身の作品を解説する機会をいただける企画の開催には多くの方々のご尽力あってこそ成せるものであり、両国の事前、当日の関係者の方々に感謝の意をこの場をお借りしまして申し上げます。



ふくやま美術館報告



文 武蔵 篤彦

広島県福山市のふくやま美術館において、福山市と福山市教育委員会の後援で、昨年十一月二十九日（火）から十二月九日（日）まで、月曜の休館日を除いて十日間「日本・オーストラリア国際版画展」が開催されました。ふくやま美術館は、新幹線福山駅からすぐ近くのたいへんアクセスの良いロケーションにあり、博物館や文学館が建ち並ぶ福山市文化ゾーンの奥に位置する二階建ての落ち着いた瀟洒な美術館です。

しかし京都市美術館に比べ、ふくやま美術館の展示スペースが狭いことから、京都市美術館では日本とオーストラリア両方の出品作家が基本的に二点の作品を発表していましたが、二点を一点に減らして京都展のちょうど半分サイズの展示規模での展覧会を行うことになりました。

日本・オーストラリア国際版画展 in 京都 & 広島



③ ふくやま美術館

あいにく福山市近辺には版画京都展実行委員会の会員が居られず、搬入・搬出や会期中の受付の手配は非常に難しいものがありました。倉敷芸術科学大学の五十嵐英之先生にお願いして、なるべく多くの学生を集めていただいたのですがそれでも足らず、会員皆様のご助力を得て、なんとか無事に作品展示が完了し、搬出もスムーズに行えました。特に担当していただいた佐久間嘉明先生には大変ご苦勞をおかけしたことを思います。

それと事前にふくやま美術館および倉敷芸術科学大学に、ポスターとチラシの配布をお願いしましたが、展覧会の広報に関しても充分であったとは言いが、難いものがあります。このことはふくやま展の入場者数にも反映されていて、十日間の入場者総数が三七二名で京都展の五分の一弱ほどでした。やはり前回の北九州展のように、熱心な会員のいる地域の美術館で開催した方が、その地域での広報活動から搬入や搬出も含めて順調に事が運ぶように思いました。

しかしながら、ふくやま美術館学芸課長の谷藤史彦様には、打ち合わせから搬出まで多大なご尽力をいただきました。この場を借りて改めて御礼を申し上げます。



写真提供
① 北村昇一
②～④ 坂爪厚生

④ ふくやま美術館 展示風景

廣瀬

Atsushi
Hirose

敦史

銅版画

優秀賞

'87 徳島生まれ
'09 大阪芸術大学芸術学部美術学科 卒業
'09 第77回日本版画協会展 賞候補
'10 第78回日本版画協会展 賞候補
'14 第82回日本版画協会展 奨励賞
'14 日本・オーストラリア国際版画展 優秀賞

「冬の亡霊」縦二五・五×横二二センチ／エッチング／二〇〇八



作家紹介

日本・オーストラリア
国際版画展 受賞者

本展覧会では優秀な作品を制作した作家へ各賞が贈られました。次号から奨励賞とアワガミファクトリー賞の受賞者を紹介致します。

優秀賞

廣瀬 敦史・ふじい みよこ

奨励賞

高井 信子・千明

アワガミファクトリー賞

加藤 宏・日高 理恵

この度は優秀賞を頂き、ありがとうございます。
私が銅版画を始めたきっかけは細い線でイメージをつくれる事、黒色のみで表現できる事が大きかったです。緻密な表現が出来る銅版画の世界はすぐに夢中になりました。
今回出展した作品にはエッチングとエングレービングの技法を併用して制作しておりますビュランを使用する事で表現できる線の幅が広がり、また立体感を出す事が出来ました。今後の制作においてもビュランをうまく使っていこうと思います。
作品についてですが、生き物を描く事を意識しています。その時々で浮かんだイメージを版に描いていきます。特に人の身体のパーツを描くのは好きなので作品には必ず登場します。
細い線を重ねていく作業なので、サイズの大きい物作れませんが、小さなサイズの中でしっかりと自分の世界を描いていきます。
作品を制作する際に一番大切に考えている事は、自分らしい作品を作る事です。イメージを自分なりの表現で描いていく事は常に意識しています。
今後の夢ですがエングレービングのみで作品を作ってみたくて考えています。中々時間がかかる作業にはなりますが、気合を入れて制作していきます。

優秀賞

ふじい

Miyoko Fujii

銅版画

みよこ

愛知県生まれ
京都造形芸術大学卒業

'11 山本鼎版画大賞展
'12 大野城まどかびあ版画ビエンナーレ
'14 セミナリヨ現代版画展 南島原市長賞
中華民国国際版画ビエンナーレ 美術館收藏
日本・オーストラリア国際版画展 優秀賞



二〇〇七年に名古屋で個展を開きました。当初は油彩画と水彩画のみの予定でしたが、学生時代に銅版画を教えてくださった佐久間先生の「せっかくだから少し銅版画の作品も展示されたら？」との一言で急遽十点程制作しました。翌年に日本版画協会展のB部門に応募し、入選したのがきっかけで本格的に銅版画に取り組み始めました。
テーマは「仲間」です。それは人のみではなく、動物も植物も含めこの地球上に共存している全てを対象にしております。私は大好きで油彩画の頃から我が家の犬達をモデルに作品を作っておりまして、最近では近所さんからいただいた家庭菜園のお大根がまるで人が足組をしているような妙な形をしているのを見て「野菜の擬人化」をコンセプトに制作しております。あまり難しく考えずに自分が感じるままを表現し、作り手も見る側も楽しくなるような、ほっとするような空間を作っていきたいです。
今春から娘夫婦が仕事の関係で子ども二人を連れて三ヶ四年程フランスに住むことになりましたので私自身もなにかとフランスへ行く事が増えてきそうです。娘たちがパリにいる間に一度ぐらいはパリで個展ができるように作品作りはもちろんのことですがフランス語も少し話せるようになりますようにしたいです。



「煙のサーカス団Ⅳ」縦九〇×横六〇センチ／エッチング・アクアチント／二〇一四

追悼 川西祐三郎先生のご逝去を悼む

昨年の暮れ十二月五日、私たちの大先輩川西先生が九十歳で逝去されました。先生は版画京都展委員会では発足以来の会員であり、また本会最初の名誉会員でも有られました。

よく知られるように、川西英、祐三郎父子二代にわたる木版画家は共に活動の地を神戸に据え、父が創作版画運動の一翼を担った開拓者であるならば、三男の先生は制作数が千点を越えるすぐれた木版風景画家でした。すでに八歳で木版を始め、二十歳にして日本版画協会会員推挙という早熟の才と、以降これまでの長い道程を美しく飾ったその明るい色調やモダンな構成は、私たちのみならず多くの愛好家の心をいつも奪い続けてきたのです。

ここに委員会を代表し、先生に心より哀惜の念を捧げたいと思います。
(黒崎記)



2008年10月13日 自宅にて 刷りの作業

展覧会名：京都十景・第5集 出版記念 展

日時：2015年12月16日(火)～12月21日(日)

会場：ギャラリーヒルゲート

会場住所：〒604-8081 京都市中京区寺町通三条上る天性寺前町 535

出品者：角間貴生、黒崎彰、齋藤修、坂爪厚生、佐久間嘉明、田島征彦、
縄田也千、牧野浩紀、武蔵篤彦、山本桂右 (五十音順)

京都十景に参加させて頂き、岩倉にある円通寺の庭園を木版画で制作させて頂きました。京都で沢山のお寺の庭園を拝見する機会があり、その一つが円通寺でした。素朴な雰囲気が入り、何度か足を運び、庭から見える比叡山を眺めました。静けさと落ち着きがある京都の風景の1枚にふさわしいと感じます。みなさんもこの庭園に一度伺ってほしいと思います。

文：牧野浩紀／写真撮影：人見ジュン子 (ギャラリーヒルゲート)



展覧会名：新鋭展 2015

日時：2015年1月27日(火)～2月8日(日)

会場：ART FORUM JARFO

会場住所：〒605-0023 京都市東山区三条通東大路東入今小路町 81-1F

出品者：奥島麻子、菊池香代子、古来涼子、長瀬哲夫、野嶋革、福田和国、
村崎晃、山口恵味 (五十音順)

本年度から版画京都展実行委員会に新しく加わった8名の作家による新鋭展が京都三条のJARFOで開催されました。版画というジャンルでありながら様々な技法や表現方法で彩られる展示作品、そこから垣間見えるそれぞれの世界観や制作スタンスからは、「表現」の可能性をますます感じる事ができました。単に展示会というものに留まらず、地域や世代を超えて新しい交流の場となったのではないのでしょうか。

文：野嶋革／写真撮影：松原知子(JARFO スタッフ)

活動報告

展覧会名：ポレポレ展 2014

日時：2014年9月9日(火)～9月21日(日)

会場：ART FORUM JARFO

会場住所：〒605-0023 京都市東山区三条通東大路東入今小路町 81-1F

出品者：朝日みお、伊藤尚子、ツツミアスカ、服部久美子、三田村直美、
目良真弓 (五十音順)

今回のポレポレ展は、出品者の人数が程よく、1人あたり4～6点の作品を展示する出来ました。空間にゆとりがあり、窮屈さを感じさせず、落ち着きのある上品な展示となりました。

文・写真撮影：ツツミアスカ



掲示板

会報にお寄せいただいた版画京都展実行委員会メンバーの展覧会情報です。
詳細は会場へお問い合わせください。

●池本 明代、高井 信子 (他6名)
＜グループ展 | 玉手箱展＞
会期：2015年3月22日～3月29日
会場：ぐらびゅうる神戸
〒651-0065 神戸市中央区割塚通 4-2-13
TEL：078-803-3145

●久保 直美
＜個展 | きおくのかたち＞
会期：2015年3月31日～4月5日
会場：ギャラリーヒルゲート 2F 〒604-8081
京都市中京区寺町通三条上る天性寺前町 535
TEL：075-252-1161

●ツツミ アスカ
＜個展 | The Silent Drama＞
会期：2015年4月7日～4月19日※4/13 休廊
会場：ギャラリー恵風 〒606-8392
京都市左京区丸太町通東大路東入ル南側
TEL：075-771-1011

●角間 貴生
＜個展 | 角間 貴生展『だまし絵・顔魔術の世界』＞
会期：2015年4月28日～5月3日
会場：山本文房堂画廊
〒810-0041 福岡市中央区大名 2-4-32
TEL：092-751-4342

●高井 信子
＜個展 | 日本・オーストラリア国際版画展 受賞者展
高井 信子展 (銅版画)＞
会期：2015年5月12日～5月17日
会場：ギャラリーヒルゲート 2F 〒604-8081
京都市中京区寺町通三条上る天性寺前町 535
TEL：075-252-1161

●近藤 幸
＜個展 | 近藤 幸 木版画展＞
会期：2015年5月30日～6月13日
会場：ギャラリー ACS 〒460-0008
名古屋市中区栄 1-13-4 みその大林ビル 1F
TEL：052-232-0828

●朝日 みお
＜個展 | 朝日 みお 銅版画展＞
会期：2015年6月8日～6月13日
会場：アートデアート・ビュー
〒569-0802 大阪府高槻市北園町 13-30
TEL：072-685-0466

●ふじい みよこ
＜個展 | ふじい みよこ 銅版画展＞
会期：2015年6月25日～6月30日
会場：ギャラリー尋屋 〒460-0008 名古屋市中区栄 3-31-3 コンファレンス尋屋ビル 5F
TEL：052-262-6800

●近藤 幸
＜個展 | 近藤 幸 木版画展＞
会期：2015年8月24日～8月30日
会場：アートデアート・ビュー
〒569-0802 大阪府高槻市北園町 13-30
TEL：072-685-0466

●黒崎 彰
＜個展 | 黒崎 彰 新作個展＞
会期：2015年8月24日～9月5日※8/30 休廊
会場：シロタ画廊 〒104-0061
東京都中央区銀座 7-10-8 第五太陽ビル B1F
TEL：03-3572-7971

●松岡 恵子
＜個展 | 松岡 恵子展 - 油彩 / 銅板画 - ＞
会期：2015年10月6日～10月11日
会場：ギャラリーヒルゲート 2F 〒604-8081
京都市中京区寺町通三条上る天性寺前町 535
TEL：075-252-1161

●野嶋 革
＜個展 | 野嶋 革 展＞
会期：2015年10月23日～11月8日
会場：京都・アートゾーン神楽岡 〒606-8311
京都府京都市左京区吉田神楽岡町 4
TEL：075-754-0155